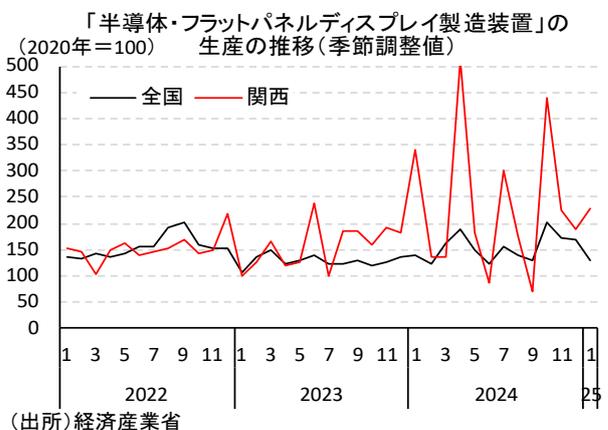
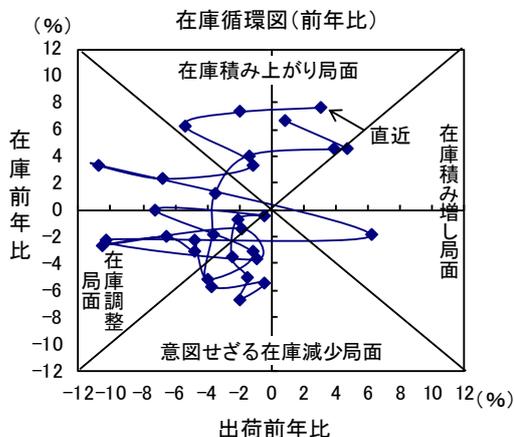
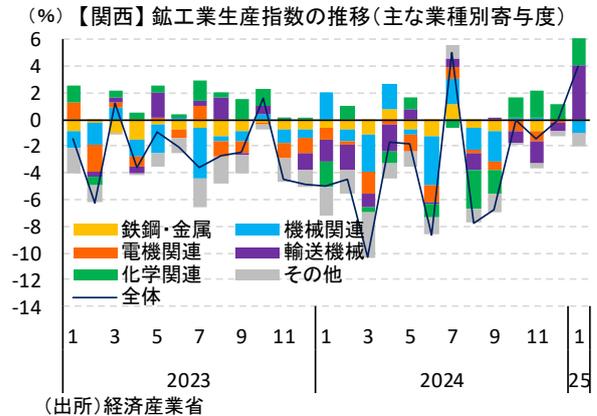
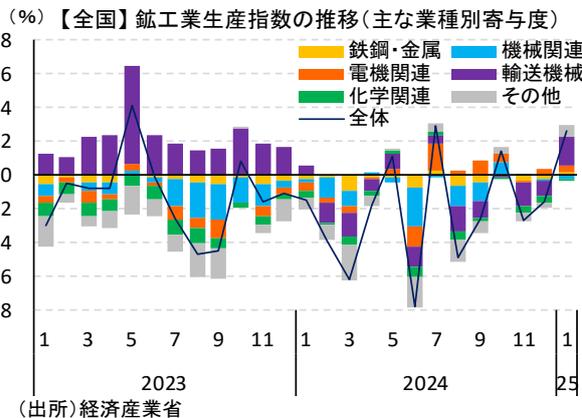


関西の景気トピックス【鉱工業指数（25年1月）】

- 25年1月の鉱工業生産動向（近畿経済産業局）の確報データによると、生産（原数値）は前年比で4.1%増と、6か月ぶりの増加となった。業種別には自動車関連が増加したのに加え、医薬品を中心とした化学関連の増加も全体を押し上げる形となった。
- 在庫循環の状況を見ると、前月に続いて、需要が企業の予測を下回り、在庫が積み上がってしまう「在庫積み上がり局面」となっており、今後の推移が注目される。
- 今月の自動車の増加は、認証不正問題による生産停止が終わった影響とみられるが、部品メーカーの工場で起きた事故による部品不足もあり、不安定な動きが続く見込み。一方、昨年前半にかけて関西の生産を押し上げていた「半導体製造装置」は、水準としては一定の動きが続きつつも、直近では前年を下回る動きも出始めている。



※近畿の鉱工業指数に関する詳細は近畿経済産業局HPにてご確認ください。